

聖霊降臨節第9主日礼拝説教要旨(7月19日)

『神の国の王』早川 真牧師

ヨハネによる福音書 6:1-15

群衆はイエスを、ユダヤという地上の国の王にしようとしていました。しかしイエスは地上の国の王ではありませんでした。イエスは神の国の王でした。ローマの信徒への手紙14:17には次のように書かれています。「神の国は、飲み食いではなく、聖霊によって与えられる義と平和と喜びなのです。」イエスが本当に満たしたいものは、食べればなくなるパンではなく、永遠になくならない神と人との間にあるべき義と平和と喜びです。

主イエスは私たちの肉体の必要と同時に魂の全ての必要を与えて下さるお方です。イエス・キリストを通して、永遠の命も、罪の赦しも、天の住まいも、私たちが必要とするものは全て豊かに備えられています。今も主イエスは私たちに、聖霊によって義と平和と喜びを有り余るほどに与えることがおできになります。

必要が足りないという呻きの満ちる地上の国に、主イエスは来て下さいました。そして、ご自分の体を裂き、私たちを生かすパンとなって下さいました。このイエス・キリストを信じるなら、私たちの欠乏はすべて完全に満たされると今朝の個所は約束しています。イエス・キリストは神の国の王として、私たちに必要なものを与え導いてくださいます。そして私たちはこの神の国の民として、欠乏にあえぐ人々に義と平和と喜びを分け与えるために招かれています。

そのためには、まず私たちが、キリストのもとに行き、日毎、朝ごとに義と平和と喜びに満たされる必要があります。主イエスは弟子たちを用いてパンを配らせました。私たちもまた、神の国の王であるイエス・キリストの豊かな祝福を携えて、新しい一週間へと歩みだしてまいりましょう。